未来橋
令和6年3月9日発行
高浜町立高浜中学校
＜敬愛 自主 剛健＞

令和５年度　高浜中学校の主な取組

本年度のスクールプランに基づいた取組の一部を紹介します。

＜確かな学力＞
◎ わかる喜びと主体的に学ぶ楽しさを味わえる授業づくり
◎ ICTの有効活用と指導法の工夫
○ 考えを伝え、深め合う活動の充実
○ 基礎･基本の定着
○「学びの連動」につなげる家庭学習の充実（家庭学習の習慣化）

◎ 生徒が能動的に学習材に向き合い、学びを楽しむための学習形態・授業展開の工夫を行う。
◎ ICTを有効活用して表現力を高め、考えを伝え合うことができる活動を行う。
○ 主体的・探究的な学びを促す課題の設定を行う。

ALTによるGTEC事前学習

ペア･グループ学習

タブレット活用

和の作法

出張音楽堂

金融教育講演会

発信力･プレゼンテーション

発信力･プレゼンテーション２

主体的な学習態度の育成

イングリッシュキャンプ

検証実験

郷土資料館見学

兵庫教育大学との協働研究連携

＜健やかな体＞
◎ 自己健康管理能力の向上
基本的な生活習慣の定着と主体的な態度の育成
◎「いのち」を尊重した教育の推進
○ 安全意識の醸成と危険回避能力の育成（生活安全、交通安全、災害安全）

◎ 学級指導や委員会活動において、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめ、自分の生活リズムの見直しを図る取組を行うことにより、知識を高め、自主的に健全な生活を送る態度を養う。
◎「いのち」を尊重した授業や講演会を行い、「いのち」について関心を持ち、考える機会を設ける。

食育の学習(栄養教諭)

保健集会(朝食)

『いのちの学習』講演会

『命の大切さ』を学ぶ教室

薬物乱用防止教室

ダンス大会（体育科）

ワットバイク

ひまわり教室

がん教育講演会

心理教育(ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ)

地域医療介護特別授業

救急救命講習

優秀組織表彰(学校保健)受賞

＜学校教育目標＞

「志高く、自己を磨き、仲間と共に高め合う生徒の育成」

【校 訓】
敬 愛
自 主
剛 健

めざす生徒像
●自ら考え、探究する生徒
●命を大切にし、心身ともに健康でたくましい生徒
●地域に貢献できる生徒
●自他の良さを認め合い、共に向上する生徒

One team(3年生への感謝の集い)

全体学習(学年人権学習)

心を耕す道徳授業

親子で学ぶPTA講演会

合唱コンクール

オープン参加ステージ

色別スマイルアクション
（執行部企画）

紙芝居「戦中戦後のくらし」
(高浜町連合遺族の会・次世代の会)

地震災害義援金募金活動

学級会･自治活動の推進

体育祭：全校ダンス

文化祭：色別劇場

「いのち 愛 人権」フェスタ

ハローボランティア

ふるさと福井CMコンテスト
奨励賞受賞

SDGｓ×探究サミット

若狭高校生を招いて

地域との連携
ゲストティーチャーを招いて

和田 de『灯音祭』

商品開発(薬草七味･しそのゼリー)

九州保健福祉大学薬学部との連携

「高浜未来創造プラン」
砕導山城跡PR

京都府プログラミングコンテスト
（優秀賞）

福井県プレゼンテーション大会

職場体験学習

ふるさとの学び特別賞受賞

＜豊かな心＞
◎ より良い自分や学校を創るための自治的・自発的な生徒会活動の充実
◎ 道徳教育・人権教育の推進
自他の生命や人権を尊重し、認め合い、高め合う集団の育成
○ 規範意識の高揚（情報モラル教育の推進と啓発）

◎「特別の教科道徳」の授業を中心に、考え、議論する必然性のある導入を工夫する。
◎ 生徒が主体的に企画運営する生徒会活動や学校行事を推進する。
○ 情報モラル講演会や授業を行い、ネットモラルについて考える機会を設ける。

＜家庭地域に開かれた学校＞
◎ 地域の人材・教育資源を活用した企画提案型探究学習の充実
◎ 地域貢献活動（ボランティア）の推進
○ 家庭・地域と連携した開かれた学校づくり
○ 持続可能な地域社会づくりに参画しようとする生徒の育成

◎ 総合的な学習の時間等において、地域の方と交流し、ふるさとの未来を考える企画提案型探究学習を位置づけ、実施する。
◎ 生徒が企画・提案する地域貢献活動やボランティア活動を実施する。
○ 学校からのお知らせや生徒の活動の様子等をホームページ、Home＆School等を活用して発信する。

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action in TAKAHAMA

探究×創造×協働

「ふるさとの学び特別賞」（優秀学校賞）2年連続受賞

高浜中学校の生徒たちが取り組んでいる企画提案型の探究学習「高浜未来創造プラン」の取組が、令和5年度「ふるさとの学び特別賞」（優秀学校賞）を受賞しました。

これは、福井県教育委員会が「ふるさと教育」の充実を図るために実施している取組で、ふるさと福井の誇りと愛着を育む優れた実践を行っている学校（小学校4校、中学校3校）が表彰されるものです。しかも、今回の受賞は、昨年度に引き続き、2年連続の受賞となります。

本校は、地域の教育資源を有効活用した特色ある教育課程を編成し、地域の方々の力強いサポートを受けながら、主体的、協働的なふるさと学習に取り組んでいます。本年度も砕導山城跡PRやインスタ映えスポット、薬草やハーブ、杜仲、内浦レモン、いちご、トマトなどを使った商品開発、高浜町をPRするCMづくり、プレゼンテーション大会、プログラミングコンテスト、安心安全なまちづくり、国際交流、高浜七年祭、「和田de灯音祭」、古着の活用、アップサイクル、廃棄野菜の活用、漁業活性化、公園の利用、食品ロス、フードドライブ、ブルーカーボン問題、買い物難民問題、子育て支援、（海洋）ゴミ問題、空き家問題、人口減少問題、町の活性化など地域のSOSや多様な社会問題から、生徒が「問い」を立て、町行政の方々をはじめ、地域の専門家や高浜町のために活躍しておられる方々、若狭高校や舞鶴高専の生徒や先生方等にサポートをしていただきながら、主体的に探究学習を進めてきました。新聞やTV、教育雑誌などでもその取組が一部紹介されておりますが、今回の受賞はそういった生徒の多様な活動が評価されたものです。今回、表彰対象となったのは、全校246人（探究チーム全41チーム）の生徒たちの実践です。

2月3日に福井市地域交流プラザAOSSAで開催された「福井ふるさと教育フェスタ」の中で表彰式が行われ、本校の生徒会長中嶋涼介さんが生徒代表として福井県知事から表彰盾を受け取りました。

表彰会場の福井市地域交流プラザAOSSAの8階フロアーには、高浜中学校の生徒が取り組んだ「起案書」をはじめ、新聞記事や2次元コードによる活動展示、ポスター展示など、各活動の様子が紹介されていました。

『令和５年度　ふるさとの学び特別賞(優秀学校賞)』

『令和４年度　ふるさとの学び特別賞(優秀学校賞)』

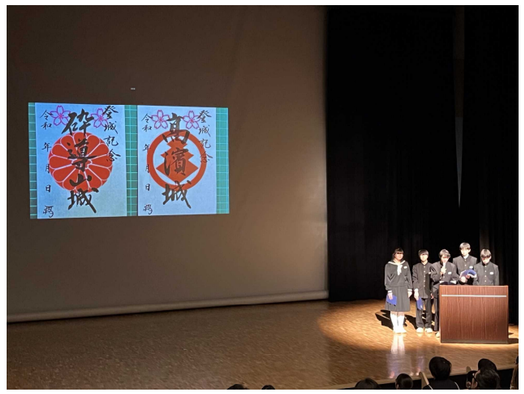
「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」福井県PTA連合会長賞を受賞!!

探究学習「高浜未来創造プラン」で「高浜町の魅力をPRしよう」をテーマに取り組んでいる3年生チームが、12月17日（日）に行われた福井県教育委員会主催の「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」に出場し、「福井県PTA連合会長賞」を受賞しました。

この「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」は、福井県の小中学生の伝える力と、ふるさとへの理解と愛着を深めることをねらいとして開催されており、『福井プレゼン甲子園』とも呼ばれている大会です。今年は、計131チームの参加があり、予選を勝ち抜いた16チームが福井市地域交流プラザAOSSAハピリンホールでプレゼンテーションを行いました。

このプレゼン大会の審査の基準は、クイズ形式やかけ合いなどといった聞き手を引きつける表現の工夫、プレゼンのスライドの構成、説得力や発想力などを基準として審査されます。

受賞した3年生チームは、高浜町の魅力を少しでも多くの人に伝えることによって町の活性化を図り、高浜町に貢献したいという思いを持って大会に臨んでくれました。このような大舞台で見事に優秀な成績を収めた3年生に拍手です。おめでとうございます！！



0から1を創り出す

高浜未来創造プラン
SDGs Take Action 2023 in TAKAHAMA

プログラミングコンテスト〈ゲーム開発〉優秀賞・敢闘賞受賞

11月26日（日）に舞鶴赤れんがパークで「京都府プログラミングコンテスト本選」が行われました。予選を通過した3年生の2チームは、予選通過後も開発した作品（ゲーム）をさらにブラッシュアップし、プレゼンテーションをしました。そして【ゲーム開発部門】で、見事「優秀賞」と「敢闘賞」を受賞しました。おめでとうございます。

このように探究学習「高浜未来創造プラン」で、生徒たちが自ら問いを立て、その課題解決につながる活動に取り組んでいます。どの学年も意欲的に活動しており、様々な分野で高中生が活躍をしています。

ふるさと福井CMコンテスト　奨励賞受賞

高浜未来創造プランで高浜町の魅力をPRする1年生探究チームが、令和5年度ふるさと福井CMコンテストに応募し、見事、中学校部門で奨励賞を受賞しました。 受賞した1年生チームは、高浜町の魅力を発信するために、何かよい手段は無いかと模索する中、福井県が主催する「ふるさと福井CMコンテスト」の存在を知り、このCMコンテストに参加しました。
受賞したCMは、3月25日に福井市にぎわい交流施設「ハピテラス」の大型ビジョンで放映されます。また、福井県のホームページでも公開されています。是非ご覧ください。

全国人権作文コンテスト 学校賞（法務省人権擁護局長及び全国人権擁護委員会連合会長賞）受賞

全国中学生人権作文コンテストにおいて、法務省及び全国人権擁護委員会連合会より、学校賞（法務省人権擁護局長及び全国人権擁護委員会連合会長賞）として「感謝状」をいただきました。法務省と全国人権擁護委員連合会では、次代を担う中学生に、日常の家庭生活や学校生活等の中で得た体験に基づく人権作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として、昭和56年度から「全国中学生人権作文コンテスト」を実施しています。

今回、本校の生徒の作文が、特別賞・福井新聞社長賞・優秀賞など入賞作品が多く、全国中学生人権作文コンテストにおいて、本校の取組が中学生の人権意識の高揚に尽力したとのことで、学校賞として「感謝状」をいただきました。今後も、道徳や人権学習の充実を図るとともに、人権作文や全体学習（学年道徳）、人権講演会等の取組を通して、生徒の人権意識の高揚に努めていきたいと思います。

福井県教育委員会表彰（学校保健・優秀組織表彰）受賞

高浜中学校が福井県教育委員会表彰（優秀組織表彰）を受賞しました。この受賞は、心身の健やかな児童生徒を育てるため、学校保健において計画的かつ組織的に取り組み、優れた成果を上げている学校1校が表彰されるものです。

本校では、スクールプランの4つの重点目標の1つに「健やかな体」の項目を位置づけ、目指す生徒像である「命を大切にし、心身共にたくましい生徒」の育成に向けて、学校全体で計画的に保健教育に取り組んできました。

特にここ数年のコロナ禍における感染症予防対策や生徒の自己健康管理能力の育成に向けた生徒会の取組、そして、日常の健康指導と合わせ、「がん教育」や「いのちの学習」、親子で学ぶPTA講演会「スマホ・ネットとの上手なつきあい方（スマホの長時間利用やネット依存の健康被害）」、「地域医療・介護特別授業」、「親子道徳」、「デジタルシティズンシップ講演会」、「薬物乱用防止教室」などといった多様な外部講師を積極的に招いた講演会の実施など、日ごろの安心安全な学校づくりにおける組織的な実践が評価されました。

今回の受賞は、PTAや地域の皆様からの力強い支えやご協力のおかげだと心から感謝申し上げます。今後も引き続き、子どもたちの心身の健やかな成長を目指して、日々学校運営に努めて参りますので、本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。